

まちの話題

ISA City Topics 

伊佐はいーさ ～故郷と共に歩み続ける未来～



1月3日、大口ふれあいセンターで「平成27年伊佐市成人式」が開催されました。

式典では和太鼓衆鼓動塾による力強いオープニング演奏の後、森教育長が「若さは未来への可能性です。若者らしく『希望』を持って生きていってください」と激励しました。

今年成人を迎える323人を代表して、山口和馬さんが「20歳の抱負」を述べ、実行委員数名が、「わたしたちの未来」をテーマに10年後の夢を発表しました。

会場は、友人と久しぶりの再会を喜ぶ新成人の姿であふれ、賑やかな雰囲気でした。



第36回菱刈剣道大会



1月12日、第36回菱刈剣道大会が、菱刈農業者トレーニングセンターで行われました。県内外から93チームが参加し、日頃の修練の成果を競いました。

試合結果は次のとおりです。

小学生男子の部 (42チーム)

- 優勝 日当山剣道(霧島市)
- 準優勝 加世田剣道スポーツ少年団(南さつま市)

- 第三位 太陽少年剣道クラブ(鹿児島市)
- 南月少年剣道クラブA(鹿児島市)

小学生女子の部 (14チーム)

- 優勝 出水剣友スポーツ少年団(出水市)
- 準優勝 高尾野剣道スポーツ少年団(出水市)
- 第三位 南月少年剣道クラブA(鹿児島市)
- 下水流剣道スポーツ少年団(出水市)

中学生男子の部 (23チーム)

- 優勝 垂水中央中学校(垂水市)
- 準優勝 高岡中学校(宮崎市)
- 第三位 日当山中学校(霧島市)
- 上市来剣道スポーツ少年団(日置市)

中学生女子の部 (14チーム)

- 優勝 南月少年剣道クラブ(鹿児島市)
- 準優勝 野田中学校(出水市)
- 第三位 三松中学校A(小林市)
- 城西中学校(鹿児島市)

伊佐においでよ



12月12日に伊佐農林高校生の企画による実習体験バスツアーが実施されました。

鹿児島中央駅を出発したバスツアーの参加者20人を高校生がおもてなし。日頃の実習成果を発揮する場となりました。

ツアー参加者は、木工体験、クリスマスリースづくりなどを体験し、高校生が手作りしたピザの昼食、野菜の収穫体験などアットホームな雰囲気の中、高校生とのふれあいを楽しみました。

午後は、高校生がガイドになり曾木の滝や発電所遺構を案内するなど、盛り沢山のツアーとなりました。

今年1年が希望に満ちた年となりますように



針持にある羽神社（はじんじゃ）には毎年元旦に販売される色紙のお守りがあります。



色紙には毎年、干支の絵が描かれており、今年は伊佐市針持出身の画家、市来功成さんが羊を描きました。

また、書かれている文章は針持小学校の宮田先生によるもので、「今年一年も素晴らしい年になるように」と願いが込められています。

1本のタスキに思いを込めて



第28回県地区対抗女子駅伝競走大会（1月25日）と第62回県下一周市郡対抗駅伝競走大会（2月14日～18日）の伊佐チーム合同結団式が1月14日、大口ふれあいセンターでありました。

隈元市長は「日頃の練習の成果を信じて、悔いのない走りをしてほしい」と激励しました。

また、選手代表の中條幸大選手と寄川美咲選手が「粘り強く走ります」と宣誓し、大会での健闘を誓いました。

※ 県下一周駅伝の伊佐市通過は2月16日です。

ドライブレコーダー搭載車出発式



市の公用車120台にドライブレコーダーが搭載され、12月16日に出発式を行いました。走りながら周辺の映像を自動録画できることから、事故防止や犯罪抑止、子どもや高齢者の見守りカメラとしても活躍しそうです。

機器は、製造元ユピテル（安楽憲彦社長：伊佐市出身）から導入しており、出発式に出席した遠藤定義取締役は、「安心安全なまちづくりに貢献できてうれしい」とあいさつしました。

針持橋 開通式



1933年に架けられた旧針持橋は、河川拡幅のため昨年1月に撤去され架替え工事を進めていました。工事途中には、針持小児童9人の記念手形が設置されるなど、地元可愛さ、生活に必要不可欠な橋です。

1月19日、完成を待ち望んでいた新針持橋の開通式が行われ、針持小児童や地元老人クラブのメンバーらが渡り初めし、開通を祝いました。

南三陸町長 伊佐市訪問



宮城県南三陸町の佐藤仁町長が1月9日、伊佐市長を訪問しました。

平成23年の東日本大震災の際、復興支援のため職員派遣や物資提供をしたことをきっかけに、今回が3度目の来市でした。

来月で震災から4年。佐藤町長は、ハード事業などはあと1～2年で区切りがつきそうだと、復興の状況を伝えました。

現在伊佐市からは3人の職員を派遣しており、そのお礼と支援の継続を求めました。

派遣職員による連載記事「南三陸だより」は14頁に掲載しています。

菱刈小学校 「ありがとう学び舎」



昭和33年から34年に掛けて建設され、これまで3,784人の卒業生を送り出してきた菱刈小学校の校舎が、新校舎建設のため解体されることになり、12月16日に岩切校長による「お別れ授業」が開催されました。

生徒は、同校の卒業生など約30人と6年生の児童たち。「昔を今につなぎましょう」というテーマで、写真やエピソードをまじえた授業に聞き入り、学生時代の気持ちに返ったようでした。

教室にはこれまでの卒業アルバムが並べられ、卒業生たちはアルバムを手に取り懐かしさに浸っていました。

本寄贈



伊佐市の企業・団体等の市民を対象に行われた、次世代を担うリーダー養成講座「平田塾」の塾長で南島詩人「平田大一」氏から市内3高校に本を寄贈していただきました。

3高校の生徒は、次世代のリーダー育成事業の一環として沖縄感動体験などを経験し、ふるさとを誇りに思い、新たな伊佐の魅力を発信するリーダーとなるべく、学びを続けてきました。

平田氏の熱いメッセージが込められた本は、生徒たちに新たな感動を与えてくれることでしょう。

交通安全信号餅つき



12月24日、大口東小学校で交通安全信号餅つき大会が開催されました。

今年で25回目となるこの行事には、伊佐警察署、交通安全協会、校区コミュニティ協議会、大口東小の皆さんが参加しました。

幼児学級と小学校の児童たちは、杵と臼を使って、白餅と信号の色になぞらえた赤、緑、黄色の餅をつきました。

正月の準備を楽しみながら、冬休みを前に交通安全への意識を高めました。

薩摩中央家畜市場で 子牛の初せり市



県内のトップを切って1月6・7日、さつま町の薩摩中央家畜市場で子牛の初せり市が開催されました。

528頭（雌235頭、去勢293頭）の売却が成立。

1頭当たりの平均価格は58万8,006円で、最高値は雌94万1,000円、去勢89万円でした。

特別展「ガウディ × 井上雄彦」 見学会



12月25日、長崎県美術館で開催中の特別展「建築家・ガウディ × 漫画家・井上雄彦」の見学会に36人の参加がありました。

井上雄彦氏は伊佐市出身の日本を代表する漫画家で、会場には原画約40点が展示されています。これだけ多くの原画が一度に展示されることは非常にめずらしく貴重な機会となることから、伊佐市民を対象に教育委員会が見学会を計画しました。

参加者は、迫力ある原画や建築家・ガウディの貴重な資料等を熱心に見学していました。

特別展は、長崎県美術館で3月8日（日）まで開催中です。

餅花「めのもち」



1月15日の小正月に継承されている伝統行事の一つに「めのもち」飾りがあります。全国的にも珍しい米俵と飾った「めのもち」が、今年も内田一さん（農林高通・82歳）宅の床の間にお目見えです。

一さんの父である義光さんから数えると100年あまり、内田家の恒例行事にとどまらず、県内外からお客さまが訪れるほど有名で、40kgの餅を妻の保子さんら家族総出で飾り付けました。

特別に自家栽培したワラを使って、一さんが手づくりした米俵から伸びる榎（エノキ）に800個の餅の花が美しく咲き、それを眺めながら今年の豊作を祈りました。